

みんなのた場

仲間(113) みんなで百歳体操 笑顔で汗、健康に

黒沢もみじ会

河南地区前谷地の住民で平成14年に結成し、今年で活動17年目に入りました。現在、会員は70～80代の20人。

毎月第1、第3火曜日に黒沢公益堂に集まり、心身の健康づくりを目的にさまざまな取り組みをしています。

現在、メインに行っているのが「いきいき百歳体操」。重りを使うなどした筋力運動で、高齢者が寝たきりや、生活不活発病になら



百歳体操でますます元気



会話が弾む手作業

詞がある「お座敷小唄」のユーモラスな替え歌でスタート。趣味を持つこと、仲間と集うこと、そして何より前向きな気持ちを忘れないことをお互いに確認しています。

4月には地域駐在所の警察官を講師に交通安全教室を開催しました。視察会では気仙沼市を訪問し、震災復興の現状を勉強しました。つるし飾り作りなど、手指を使ったメニューも織り交ぜて、活動がマンネリ化しないように心掛けています。

このほかにも市敬老会のイベントへの協力、地域福祉活動への参加なども積極的に実施しています。会員は「みんなで集まって、話し、笑うことでストレスも解消しています」と口をそろえました。

文化財たんぽう(103)

ふるさと文化財の森 北上茅場

全国に屋根材を出荷

生涯学習課

今年3月23日、文化庁によって北上町十三浜の石巻北上茅場が「ふるさと文化財の森」として設定されました。

「ふるさと文化財の森」とは、文化財建造物の修理用資材を安定確保するために、文化庁が実施しているシステムです。文化財建造物の保存修理には同種同質の資材が不可欠ですが、木材、檜皮、カヤ、漆などの植物性資材で、特に大径材や高品位材は市場から調達することが困難です。そのため文化庁では、平成18年度から、これらの産地をふるさと文化財の森」とし

て設定し、全国に情報提供することで、保存修理の安定的確保を目指すと共に、当該資材に関する技能者の育成と、資材や技能の確保などに関する普及啓発活動を推進しています。

カヤは古来より建造物の屋根葺材として利用されており、その需要は高く、石巻北上茅場と、平成22年に「ふるさと文化財の森」に設定された三輪田・大森・高木の上品山茅場の2カ所から採取されたカヤは全国に出荷され、文化財建造物の修理などに活用されています。国指定名勝齋藤氏庭園にあ

る建物の屋根の保存修理にも、石巻北上茅場で採取されたカヤが使われています。

林業で効率的に植林と伐採を行うには、非樹林地も設ける必要があります。石巻北上茅場は山中の非樹林地で、この付近は天然記念物に指定されているイヌワシの繁殖地でもあり、茅場はイヌワシの格好の餌場となっています。このように計画的に茅場を整備することは林業や自然保護の面でもメリットがあり、今後も茅場の整備を推進していく予定です。



齋藤氏庭園修復工事 木小屋かやふき替え



石巻北上茅場

スポットライト

女子軟式野球 宮城デイズ



2連覇に貢献した(左から)堀野、小野寺、大友の3選手

地元中学の3選手 全国連覇に再び貢献

8月11、13日に東京都で開催された第16回全日本女子軟式野球学生選手権大会の中学生の部で、宮城デイズが2連覇を果たしました。レギュラーのうち3人は石巻市内の中学に通っており、中軸選手としてチームを引っ張り、見事に頂点に立ちました。

3人は、石巻中の小野寺彩音さん(15)、門脇中の大友希美さん(15)、河南西中の堀野鈴菜さん(15) 11いずれも3年。

小野寺さんは「ミスをして引きずらない。相手にリードを許しても気持ちで負けないように全力を出し切りました」と笑顔を見せました。小野寺さんは「練習を重ねたおかげでエラーの少ない試合ができました。常に前を向くチームワークが連覇につながりました」と言葉に力を込めました。

堀野さんは「昨年の優勝チームということで厳しくマークされましたが、チームの仲間を信じて、落ち着いて、粘り強く戦えました」と勝因を話しました。大友さんは「ミスをしても引きずらない。相手にリードを許しても気持ちで負けないように全力を出し切りました」と笑顔を見せました。

を飾った昨年に続き栄冠に輝きました。

8/12 北上 帰省客を古里の味でおもてなし

にっこり夕市



Topic of town まちの話題



古里の特産品を格安で提供する「にっこり夕市」(北上地域物産振興協会主催)が8月12日、にっこりサンパークで開かれました。北上川産の大ぶりなシジミをはじめ、ゆでタコや蒸しホヤ、ワカメ、コンブなどの海産物と、枝豆や米などの農産物が並びました。訪れた人は、お盆休みに帰省した家族や親戚を懐かしい味でもてなそうと、盛んに買い求めていました。

8/18 河北 ミニSLや屋台「ホコ天」熱気

いいのかわ歩行者天国

「第47回いいのかわ歩行者天国」(飯野川商店会主催)が8月18日、飯野川商店街で開かれました。約700社のメインストリートに焼き鳥やかき氷、射的などの屋台が並び、飯野川小学校児童や石巻北高校飯野川校生徒がパフォーマンスを披露し、祭りを盛り上げました。目玉イベントのミニSL乗車会には子どもたちが集まり、笑顔と歓声があふれました。



9/2 石巻 リボン音頭で締め踊り

リボンまつり

来年開催されるアート、音楽、食の総合芸術祭「Reborn-Art Festival 2019」のプレイベント「TRANSIT! Reborn-Art 2018」は、9月2日に中瀬公園で開催された「リボンまつり」で最後を飾りました。オリジナル曲の「リボン音頭」と「魔法(にかかって)」に合わせて踊り、楽しい時間を過ごしました。音楽プロデューサーの小林武史さん、歌手の八代亜紀さんやSalyuさんも登場し、祭りを盛り上げました。



8/15 河南 広がる灯籠 幻想的な空間

和洲夏まつり

2018和洲夏まつり「和の灯」が8月15日、和洲水辺の楽校スポーツ広場で開かれました。先祖や震災犠牲者を供養する6,800個の灯籠が旧北上川の河川敷に幻想的な空間を作り出しました。ステージではチアダンスチームの踊りや民謡愛好家、ロックバンドなどの歌や演奏がありました。フィナーレでは夜空に花火が打ち上げられ、地域の繁栄も祈りました。



8/11 雄勝 漁船クルーズ、ウニ殻焼きが人気

大須浜祭り

「大須浜祭り2018×LIGHT UP NIPPON」が8月11日に開かれました。大須漁港発着の無料漁船クルーズでは、家族連れなどが北上川河口付近まで往復30分の船旅を楽しみました。よさこいなどのステージが祭りを盛り上げ、飲食ブースでは地元産ウニの殻焼きが人気を集めました。夕暮れには灯籠流しや打ち上げ花火で震災犠牲者を悼み、復興を願いました。



9/2 牡鹿 ますますの健康長寿を祈る

牡鹿地区敬老会

牡鹿地区敬老会が9月2日、清優館で開かれ、77歳以上の約60人が出席しました。アトラクションでは、鮎川婦人会がフラダンスや民謡、歌謡曲などの歌や踊りで、健康長寿を祝いました。市社会福祉協議会の職員は、寸劇でユーモアを交えオレオレ詐欺への注意を喚起。鮎川浜の加藤進さん(78)が「これからも自分らしさを大切に過ごしたい」と謝辞を述べました。



8/22 桃生 はつらっプレーで健康増進

シニア世代がスポーツ交流

桃生地区シニアスポーツ大会が8月22日、桃生総合センターで開かれました。グラウンドゴルフには40人、ペタンクには4人1組の3チームが参加しました。グラウンドゴルフは野球場外野の芝生の上に8ホールを設置、2コースに分けて計16ホールで打数を競い、ペタンクは総当たりで優勝を争いました。参加者は青空の下、笑顔でプレーし、楽しみながら体力づくりに努めました。

